静岡新聞で学ぼう

Newspaper in Education

静岡新聞

試合中止 アピール機会失っても…

オリックス スカウト陣束ねる 牧田氏（島田商高出）

新型コロナウイルス感染拡大を受けて高校、大学、社会人野球の公式戦が軒並み中止、延期になり、多くの選手が進路選択のアピールの機会を失い、不安を感じている。プロ野球オリックスのスカウト陣を束ねる牧田勝吾編成部副部長(45)＝島田商高出、藤枝市出身＝は、プロを目指す選手らに「ユニフォームを着続けて」とエールを送る。

牧田氏自身、27歳で念願のプロ入りを果たした苦労人。高校、大学を経て社会人で5年間プレーし、ドラフト11巡目でオリックス入りした。「僕にしかない経験、思いがある。年齢や結果、固定観念で評価しない。巡り合わせや縁を大切にし、自分がほれた選手を一流にするんだという思い。とにかく選手には現状を受け入れ、来る大会で力を発揮できるように準備してほしい」と願う。

紅林弘太郎（右）をドラフト２位で指名し、あいさつに訪れた牧田氏＝2019年10月、駿河総合高

「27歳、ドラフト11巡目」苦労人がエール

球団は現在、活動停止中。スカウトも対外試合や練習の視察を思うようにできない。「選手を見られないことは、われわれの仕事としてもつらい」。ただ、スカウト陣には今できることをしようと呼び掛けている。かつて自分たちも追い掛け、他球団入りした選手が現在どう成長し、活躍しているのかを分析するなど〝眼力〟を磨くこともその一つだ。

「前例をつくる」が牧田氏のモットー。球界初の女性スカウトとして、ソフトボールの北京五輪金メダリストの乾絵美氏を抜てきした。「我々とは発想が違う。世界一になった経験、捕手として上野由岐子投手を支え、良さを引き出した実績もある。十人十色の選手を発掘するために〝第六感〟を発揮してくれたら」と期待する。

（結城啓子）

2020年4月12日朝刊

① 記事中の牧田氏の職業をカタカナ4字で書きなさい。

② 記事中の左の□には、牧田氏の願いをふまえた見出しが入る。記事中に数か所ある「　」内の言葉を参考にして12字以内で見出しを考え、□に書き入れなさい。

③ 記事中の「前例をつくる」という牧田氏のモットーについて、あなたの考えを30字以内で書きなさい（句読点を含む）。

年　　組　　名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター　矢沢和宏

（小学校高学年～高校／国語・総合）